

交通網利用状況調査について



平成18年1月配布、2月27日回収で、地域のみなさまにご協力いただいた交通網利用状況調査の集計ができました。多くの貴重なご意見を頂き、その中から様々な問題点が見えてきました。今後あらゆる機会を捉え、今回の調査結果が具体的に反映されるよう働きかけていく予定です。紙面の都合で一部のみの紹介ですが、調査結果をお知らせします。(産業交流委員会)

1. 交通網利用状況調査集計表

| | 西之澤 | 川西 | 川東 | 山畑 | 希望ヶ丘 | 川西青葉台 | 山岸会 | 春日丘 | 合計 |
|--------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 配布数 | 65 | 97 | 120 | 146 | 440 | 53 | 10 | 15 | 946 |
| 回収数 | 59 | 90 | 92 | 133 | 190 | 26 | 9 | 10 | 609 |
| 回収率(%) | 90.8 | 92.8 | 76.7 | 91.1 | 43.2 | 49.1 | 90.0 | 66.7 | 64.4 |

2. 回答世帯別では年齢60歳以上が最も多く(280)、家族構成では3~4人が最も多く(206)、目的別では買い物最も多かった(498)。
3. 通勤については伊賀市内が最も多く(312)、交通手段は自家用車(440)、通算時間は20分以内(309)が最も多かった。
4. 通学については伊賀支所管内が最も多く(98)、交通手段は徒歩・自転車(122)、時間は20分以内(67)が最も多かった。
5. 買い物については主に伊賀市内、手段は自家用車、時間は20分以内が多かった。
6. 通院については伊賀市内、手段は自家用車、時間は20分以内が多かった。
7. 公共交通機関の利用については年に数回、鉄道が多かった。
8. 寄せられた意見では、行政バスについての本数、接続、行き先等に関する意見が多く、その他スクールバス、JRの電化、料金の値下げ等に関する意見が続いた。

編集後記

平成18年度伊賀市の人事異動で、前副支所長西出健一郎氏が伊賀支所長に、前参事介護保険課長林田治三氏が副支所長に就任されました。住民サービス向上に優れた手腕を期待いたします。

又、壬生野地域まちづくり協議会でも新しい体制が決定しました。北村前会長以下役員、運営委員、まちづくり委員のみなさまご苦労様でした。ご活躍心から感謝いたします。

さて、去る1月に実施しました交通網利用状況調査の結果がまとまり、今回その一部を掲載しました。みなさまからのお声を今後の対策に活かしていきたいと思えます。

今後、まちづくり協議会では季節の歩みに従い、各事業が展開されていく予定です。地域住民のみなさまの、各事業への積極的なご参加をお待ちしています。



■ ご意見・お問い合わせはまちづくり協議会事務局まで

壬生野地域まちづくり協議会事務局 伊賀市川東1659-5 壬生の里2階
電話・FAX 0595-45-6270
E-mail tokimeki@ict.ne.jp ホームページURL <http://www.mibunone.net>



コミュニティ壬生野 第14号



壬生野地域まちづくり協議会広報

平成18年5月15日発行

INFORMATION

壬生野地域まちづくり協議会

平成18年度総会が開催されました



平成18年4月24日、壬生野地域まちづくり協議会平成18年度総会が、希望ヶ丘生きがいセンターで午後7時30分から、中森喜弘議長のもと開催され、盛会裡に終了しました。

来賓に西出支所長、山岡、北出、渡久山の3市議会議員が出席され、平成17年度事業報告、決算報告、平成18年度新役員、事業計画、予算が承認されました。

平成18年度の主な事業は、コミュニティ壬生野の毎月発行、ノハナショウブの観察会、滝川まつり、壬生野まつりの開催、青色回転灯装着車でパトロール活動の実施などです。事業等の内容については、追ってコミュニティ壬生野、ホームページ等で詳しくお伝えしていきます。

西出新伊賀支所長から挨拶をいただきました

4月より新しく伊賀支所長に西出支所長が就任されました。西出支所長は伊賀市小田町(旧上野市)出身の58歳で、40年来の熱烈な鉄道ファンだそうです。鉄道写真、模型、鉄道史に造詣が深く、他にもクラシック音楽、古書蒐集などの趣味をお持ちだそうです。座右の銘は、「一人は万人の為に、万人は一人の為に」。



今回、西出支所長から挨拶をいただきました。二面に掲載しましたのでご覧ください。



西出伊賀支所長より



ご挨拶

伊賀支所長 西出健一郎

薫風の候、壬生野地域の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は伊賀市行財政の推進に格別のご理解とご協力を頂いておりますこと厚くお礼申し上げます。

さて、私こと昨年度から伊賀支所において副支所長を務めさせて頂き、この度の人事異動により伊賀支所長を拝命させて頂くこととなりました。旧に倍しましてご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

皆様方には、既にご承知のとおり伊賀市が発足以来、地域の個性を尊重し、活力のある地域づくりを推進していくために“伊賀市自治基本条例”を基に全市的な取組みを行なっております。

この、取り組みは伊賀支所管内では合併前の平成15年度から実施されており伊賀市の中でも先導役を務めていただいております。

特に、“壬生野地域まちづくり協議会”におかれましては早くから地域まちづくり計画を策定され、計画に基づいた各種イベントの開催をはじめ、窓口運営事業や地域防犯事業など地域のニーズに見合った積極的な事業の展開を頂いております。

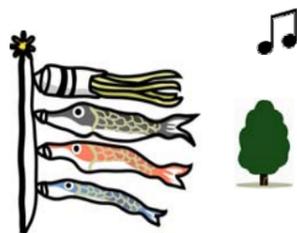
伊賀支所におきましても、総合計画に基づく行政との協働施策の推進と、引き続き協議会の運営支援に努めてまいりたいと考えておりますので、今後も、市民一人ひとりが地域の良さを実感し、希望に満ちた“みぶの”を構築できるよう自治会や各種団体を中心とした、幅広い地域力の結集をお願い致しましてご挨拶とさせていただきます。

ヤマギシだより

五月に一句

「こいのぼり 揚げて少年 登校す」

“愛児に樂園を”の心をあらわす日本一大きな鯉幟。毎年あげるのは新中学一年生の男子です。



平成18年度新役員が決定しました (^_^)/~

新役員は次の通りです。(敬称略)

| | | | | | |
|-------|-------|---------|--------|--------|--------|
| 会 長 | 山本 和生 | 会 計 | 高橋 大輔 | 幹事(区長) | 藤田 真 |
| 副 会 長 | 田中 清司 | 会 計 監 査 | 宇藤 和人 | 幹事(区長) | 柴原 長生 |
| 副 会 長 | 中森 徳之 | 会 計 監 査 | 藪田 勇 | 幹事(区長) | 福森 晋 |
| 副 会 長 | 奥田 道廣 | 幹事(区長) | 山下 謙一郎 | 幹事(代表) | 北大路 順信 |
| 事務局 長 | 立山 忠雄 | 幹事(区長) | 三根 幸治 | | |
| 事務局次長 | 居附 秀樹 | 幹事(区長) | 中林 正彦 | | |

新会長からのみなさまへのご挨拶

壬生野地域まちづくり協議会会長就任にあたって

壬生野地域まちづくり協議会の活動については、毎々格別のご理解とご協力を頂きありがとうございます。

さて、このたびはからずも壬生野地域まちづくり協議会の会長という大任をお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いであります。

北村前会長以下役員、運営委員、まちづくり委員のみなさまが平成16年度設立以来、営々と築いてこられた実績の上にとって地域住民のみなさまに納得して頂ける事業を展開し実行していかなければなりません。新たに選出された役員、運営委員、まちづくり委員のみなさまの絶大なご支援とご協力を切望して止まないところであります。

就任にあたって次の3つのことを公約したいと思います。

まちづくり活動は、住民の、住民による、住民のための活動であります。従って、

まず第一に

「できることからやろう」

第二に

「進んでやろう」

第三に

「力を合わせてやろう」

の3つであります。たいへん平易な言葉で申し上げましたが、われわれのまちづくり活動はボランティアであり優れた精神的モチベーションを高めて、コラボレーションを実践していかなければならないことは申し上げるまでもありません。

生来お持ちの能力、才能、永年培った経験、すぐれた洞察力を発揮して、存分にご活躍頂くようこちらからお願いする次第であります。

当壬生野地域まちづくり協議会は、伊賀市の中でも最も進んだ取り組みを展開しており、今後ともリーダーシップを発揮していく立場にありますので、全知全能を傾けて事に当たって参ります。よろしく全面的ご支援のほどをお願い申し上げます。

以上